

ゴールデンウィークで ほっと一息

新しい友だち、新しい担任との出会い……。4月があっという間に過ぎました。

振り返ってみると、新学期初日から、早朝の委員会活動に励み、新1年生のための入学式準備と参加、給食のお世話など6年生の子どもたちは、目まぐるしい日々を送ってきました。どの活動にも前向きに取り組む姿に頼もしさを感じました。ご家庭のほうでも、その様子や気持ちなどを聞いてみてください。

さて、ゴールデンウィークが始まります。今年度は今までの連休とは違い少し長めのお休みとなります。ご家族で楽しい計画もあることだと思います。ひと月頑張った子どもたちがほっと一息つけるよい期間になればと思っています。ご家族で楽しい時間をお過ごしください。



5月の行事

- 1日(水) 天皇即位の休日
- 2日(木) 公休日
- 3日(金) 憲法記念日
- 4日(土) みどりの日
- 5日(日) こどもの日
- 6日(月) 振替休日
- 7日(火) 学年朝会
- 8日(水) クラブ活動②
- 9日(木) 人権の日
- 10日(金) 春の遠足
- 13日(月) プール開き(2校時)
授業参観・学級保護者会(15:00~)
- 14日(火) 一年生と楽しむ会
- 15日(水) 音楽朝会 内科検診(6の1)
クラブ活動③
- 16日(木) 月曜時間割 委員会活動(6校時)
- 18日(土) PTCA 作業
- 20日(月) クリーンタイム(6年)
- 21日(火) 教育相談日スタート(~28日まで)
- 22日(水) 児童朝会(図書・保健) クラブ活動④
内科検診(6の2、6の3)
- 29日(水) 保健朝会(学校歯科医講話)
内科検診(6の4、6の5)
クラブ活動⑤

お弁当の準備をよろしく
お願いしま
す。詳細は来
週お知らせし
ます。



5月の学習

- 国語 ・随筆を書こう
・イースター島にはなぜ森林がないのか
- 社会 ・大陸に学んだ国づくり
- 算数 ・対称な図形 ・円の面積
- 理科 ・ものの燃え方と空気
・人や他の動物の体
- 音楽 ・音の重なりとひびき
- 図工 ・わたしの大切な風景
- 家庭 ・クリーン大作戦
- 体育 ・体力テスト ・水泳



水着のサイズ
しらみ
チェックを願
いします。



水泳学習が5/13からスタートします。水着・水泳
帽・タオル・バッグ等も確認をしておきましょう。

ありがとうございました

家庭訪問へのご協力をありが
うございました。ほんの短い時間では
ありましたが、保護者のみなさん
とお話できたことが何よりも大きな
収穫となりました。暖かく優しいお
心遣いにも大変感謝しています。担
任一同、保護者のみなさんの声を聴
きながら和気あいあいと一緒に子
どもたちを育ていけることを楽しみに
しています。

裏面もお読みください。



ゴールデンウィーク前(自分の命は自分で守る)

学校ではこのような指導を行いました。

ゴールデンウィークとはいっても、保護者のみなさん全てがお休みということではなく、後ろ髪を引かれながら、お子さんを残してお仕事へ出かけなければならない状況もあることでしょう。また、6年生にもなれば10日間、片時もご両親と離れずに過ごすという子もめずらしいのではないのでしょうか。

色々な状況や子どもたちを取り巻く生活環境等を考慮し、子どもたちの安全を強く願って、自分の命は自分で守るよう私たちは次のような指導を行いました。事件・事故に巻き込まれずケガのない安全で楽しい連休になることを願っています。

- ① 海や川等の水辺には大人と一緒に行く。(状況判断)
- ② 工事現場や危険な場所には近づかない。
- ③ 自転車に乗ったり道を歩いたりするときは交通ルールを守る。
- ④ 外で遊ぶときは帽子をかぶり、適度に水分補給をする。
(熱中症対策)
- ⑤ 大型スーパーやゲームセンター、カラオケ、ボーリングなどの遊技場などへは大人と一緒にいく。

金銭せびり、危険な人との遭遇等を例にあげ、小学生にはそのような状況に対応する力や判断力が備わっていないことを理由に挙げて説明しました。自分には起こらないと過信しているうちに、いつのまに……。生活環境のせいもあり、慣れてしまっている子が多いことに不安を感じています。

- ⑥ 出かける時は行き先や連絡先をお家の方に知らせる

万が一、事故や事件に巻き込まれた時も決まった時間にもどる習慣があれば、発見が早くなることやお父さんお母さんが助けに行けることを説明しました。

- ⑦ 連休中でも生活リズムを整えて生活する。

親しき仲にも・・・

家庭訪問を通して、子どもたちが他の家での過ごし方について課題が見えてきました。毎日のように入り浸り、そのうち自分の家と他人の家とを区別できなくなり、当たり前のようにお菓子や飲み物をいただき、家中を歩き回り自由に過ごすという事例があるようです。お子さんのお友だちの家を知っていますか。お子さんがどのように他の家で過ごしているか尋ねたことはありますか。大人になっていく子どもたちに、よりよい人間関係を築く「礼儀」を教えるチャンスです。送り出す側の家庭も、迎える側の家庭も子を思う気持ちは同じ事でしょう。互いにコミュニケーションを取りながらよりよい方向に育てられるといいですね。